

令和7年度事業計画 —(案)—

水産業、水産物卸売業界を取り巻く経営環境は厳しさを増しており、世界的な水産資源の管理強化の進展、世界的魚食普及に伴う消費量の増加と円安による水産物の輸入量減少懸念、物価上昇、地球温暖化に伴う水温上昇や海流の変化による影響、慢性的な人手不足、水産流通適正化法の改正、改正市場法の見直し、構造的な課題としての2024年問題等、様々な問題に的確に対応していく必要があります。

そのような中で、なお、引き続き次の取り組みを進めて参りたいと思います。

1. 卸売市場の経営強化、連携強化の推進

「講演会」や「研修会」を開催するとともに、その内容の充実を図りながら、会員市場、会員企業の経営強化や相互の連携強化に繋がる取組みの推進に努めます。

2. 連合会のホームページの運用

当連合会のホームページは一昨年3月から運用を開始しました。今後、会員、一般の方々への広報の手段として適正な運用を図り、情報提供に取り組んでいきます。

3. 国、関係機関との連携強化

農林水産省をはじめ、(公財)食品流通構造改善促進機構、(一社)全国水産卸協会、生鮮取引電子化推進協議会、市場流通ビジョンを考える会等の水産流通関係の各関係機関との連携強化を図り、情報収集や会員への有意義な情報の提供に努めます。

4. 会員拡大、組織強化の推進

様々な課題に直面している地方卸売市場業界の活性化のために、会員の拡大や組織強化を図ることが重要と考え、連合会の魅力や入会メリットの向上に繋がる取組みについて検討を進めて参ります。